

《重点目標：自分の考えを、わかるように伝え合う子どもの育成》

光りあふれる下妻小学校



むぎの子

筑後市立下妻小学校便り

令和4年12月9日号

文責 校長 亀崎美穂子

人権集会

12月4日～10日は人権週間です。この期に合わせて、下妻小学校でも人権集会を行いました。それぞれの学年が、人権について学んだこと、考えたことなどを報告し合い、意見交流を行いました。

自分を大切にすること、そして、自分と同じように周りの人を大切にすること。そのことを改めて考えた、良い時間となりました。

1年生：お友達のいいところみつけ

2年生：それぞれのよさ、みんな違ってみんないい

3年生：思い込みってへんだな

4年生：心のバリアフリー（支え合うやさしい町に）

5年生：大切にすべき友だち（私もそんな“友だち”になろう）

6年生：戦争と人権（未来への誓い・私達にできること）



5ねんせいのはっぴょうで、ないている人がいたら、だいじょうぶ?とかいっていたから、5ねんせいのまねをして、そんなことをいってみたいです。

1年 いのくち りこ



わたしは、今日の劇で心が温かくなりました。そのわけは、みんなの発表は人のことを考えているし、みんなは、こまっている人を見つけたらやさしくしてくれるんだな、と思ったからです。

4年 ビッサー にな



今までは、自分が思ったことは思ったままに発言していました。自分が発した一言で相手を傷つける事があることが改めてわかりました。これからは、ストレートに言うのではなく、一言一言の言葉には重い責任があることを忘れずに発していきたいです。

6年 井口 滉太（一部抜粋）

学級を漢字一文字で表すと・・・

放送委員会の子ども達が、楽しい企画でお昼の時間を楽しませてくれました。

優 (1年生)

クラスみんながゆずってくれるから

優 (2年生)

優しい言葉をかけて、あったかい気持ちになれるから

優 (3年生)

困っている人をすぐに助けたり、協力したりできるから

助 (4年生)

みんな誰とでも勉強を教え合って助け合っているから

笑 (5年生)

クラスみんなが、いつも笑っているから

助 (6年生)

みんながみんなのために助け合うことができるから